

ウインドサーフィン・ウイングフォイル

ドリームカップ 2024

(JWA JAPAN PROTOUR 2024 UP FOIL 第2戦)

2024年度 JWA プロツアーfoil 合計3戦

●6月1～2日

蒲郡カップ 2024

(JWA JAPAN PROTOUR 2024 UP FOIL 第1戦)

●7月13～14日

ウインドサーフィンドリームカップ 2024

(JWA JAPAN PROTOUR 2024 UP FOIL 第2戦)

●9月7～8日

浜名湖カップ 2024

(JWA JAPAN PROTOUR 2024 UP FOIL 第3戦)

第2戦！ドリームカップ 2024

今回も、横須賀市教育委員会の後援を頂き、ドリームカップ14年目で

全体で310名エントリーを頂きました。

テクノ 293 クラス 164 名

テクノビギナークラス 85 名

国体クラス 13 名

foilプロクラス 20 名

wing レーシングクラス 22 名

wing オープンクラス 3 名

今大会は、横須賀市教育委員会の後援を頂きました。



開会式には、上地横須賀市長様、田中神奈川県議会議員様、青木横須賀市議会議員様、横須賀市文化スポーツ観光部(ワールドカップ実行委員会担当の部署)様、にご列席を頂き、開会式を華やけて頂き、感謝しております。

また陸上本部の宮崎様を始め運営の皆様、地元の皆様、そして、ご協賛企業各社様のご協力とご理解のもと、大会を開催することができました。本当にありがとうございました。

foilプロツアーの参加者は、レジェンドプロ登録選手から若手 Iqfoil 選手、シンガポールからの参戦! 幅広い年齢層の20名のエントリーを頂きました。パリ五輪直前、軽風コンディションの中でハイレベルの闘いが繰り広げられました。

大会初日

今回、優勝の武田岳志選手のレポートになります。

JPN562 武田岳志です。まずはじめに2日間運営に携わって頂いた TEARS のスタッフの皆様、関係者の皆様ありがとうございました。

今大会はプロツアーのウインドfoilクラスだけでなく、テクノ国体艇ウインドサーファークラス、ウイングクラス等、複数のクラスがあったため少ないレース数で勝敗を決めることが予想されミスなくレースを展開することが他の大会よりも求められたと思います。

ウインドfoilクラスは初日の午後、8~12ktほどの南風で2レース消化することができました。

個人的な反省として1レース目に関してはスタートでトラブルがあり2上までにかなり挽回でき、2下も途中までは良いコース取りができていたのですが、風の振れに対応できず、最後まで漕ぎ切れなかった結果前2人を抜けなかったこと、スピードとアングル共に良い走りができる状態ではあったものの、周りを気にしすぎて2レース目の1上でアプローチミスがあったことの2点が悔やまれます。

しかしそれ以外については今持っている自分の最大限のパフォーマンスを発揮できたと思っています。アプローチミスがあったと言いましたが、上り下り全てにおいてオーバーアプローチがなかったこと、2レースとも追いかける展開の中、冷静にレースを行えたこと、自分の性格上これまでレースになると攻めきれず安全策を取る傾向があったので今までの課題を改善でき良い走りできたのではないかと感じています。

レース全体を見ると風が弱かったためアングルをしっかり取れている選手が上位の成績を収められたのではないかと思います。特に1下から2上にかけてソーセージコースであったためポートの上りでアングルをしっかり保ちアプローチを正確に取ることがもっとも重要であったと感じています。

ドリームカップまでの期間、良い環境下で練習ができており道具に対する理解が深まった状態で大会に臨めました。今までは微風域でのアップウインドが課題でしたが、乗り方の改善やチューニングの変化によりの微風域でも良い走りができるようになったということが勝因として挙げられます。

私自身プロツアーのfoilアップウインドクラスに参加し始めて3年になりますが、初めて優勝という結果を残せて応援してくださっている皆様に良い報告が出来ることが本当に嬉しいです。今後も上位常連の選手になれるよう日々精進していきます。

年々アップウインドクラスはアマチュア、プロ共に競技人口が減ってきているように感じます。その中でもJPN16とJPN28の2名のプロ選手はスラローム競技と並行してアップウインドクラ

スにも参加し上位の成績を収めておりプロ選手としてさすがの一言に尽きます。

ウインドサーフィン業界を盛り上げるためにも私も様々なクラスに参加して皆さんにプロツアーを知っていただけるよう貢献したいと思っています。その中でもアップウインドを盛り上げていけるよう今後も頑張っていきます。引き続き宜しくお願い致します。

シンガポールより Wearm Haw Tan(SGP1)選手も参戦して頂きました。

浜名湖 CUP も参戦予定です。

レジェンドプロ登録選手もまだまだ、負けてられません。

浜名湖 CUP 最終戦に向けて日々練習です。

参加選手の皆様、運営の皆様、本当にありがとうございました。

次回のプロツアーは、浜名湖決戦で、最終戦になります。

9月7~8日

浜名湖カップ 2024

(JWA JAPAN PROTOUR 2024 FOILFORMULA 第3戦)

是非ともお待ちしております。

JWA フォイル・フォミュラ委員会 香村



フォイルクラス 総合表彰

優勝武田 岳志(株式会社グラス/株式会社日本ブライトパートナーズ/
東海汽船株式会社/Island Star House/朝海館/株式会社岡山商店/TEARS/M.R.C)

第2位倉鹿野 巧(株式会社品川鐵工場/シリウスジム/Prime Works/surfing jetsetter/
TEARS/M.R.C)

第3位金上颯太(SEVENSEAS/SEVERNE/STARBOARD/RASHwetsuits/株式会社 earthsky/
pupu collection/福澤クリニック/overboard/明治学院大学/ファンズアスリートクラブ)

第4位賀来耕一郎(GUNSAILES/STARBOARD/SHALLOWREEF/PROLIMIT/M. R. C)

第5位穴見 賢太(Point-7/future Fly/MYSTIC/文殊仙寺/日本ハウジング(株) /カレラワークス bazz/
鹿屋体育大学)

第6位 須長 由季 ((株)ミキハウス)



フォイルクラス レディース表

優勝 須長 由季 ((株)ミキハウス)